

「地域社会の課題」

- 通学路の夜道で女子高生が襲われたと聞きその場所を調査してみた。すると街灯がないためとても危ないことがわかった。
- その現場近くには川があった。川の流れを利用して発電を行いその電気で防犯灯を照らせるのでは？と私達は考えた。

「作っていく中での課題」

- 発電をするためには筏型の水車が適していると考えた。また災害時どこにでも運べるようにしようとも考えた。
- 試行錯誤していく中で川がない場所でも小さな滝のような箇所でも発電できるようにしようと考えた。
- どこにでも設置でき持ち運びが可能な自立型の水車が完成！したはいいものの、発電量がまだまだ足りない。。。

- 以前から存在する筏型水車は河川等に浮かすことで水の流れを利用して発電を行うことが出来る。
- しかし、台風などの影響で河川に近づくことができない場合は発電できない課題がある。
- そのため、災害時でも陸上で発電可能にするため、筏型水車にスタンドを取り付けることで陸上に自立できるようにした。このスタンドを付けることにより、小さな滝のような水流がある場所に水車を自立させることで、陸上でも発電をすることが可能になった。
- また筏型水車を固定する紐は、災害時、水車をランドセルのように背負いながら避難をすることに利用できる。

- J-PlatPat 特許分類検索の公報テキスト検索を利用し、検索すると、5件出てきた。
- 「特開平10-141200」【発明の名称】地球に優しい発電イカダが確認された。
- これは、発電装置を川面に浮かべ、流れを利用する浮体式水車部分である。これと同じように、発電装置を川面に浮かべ、流れを利用する浮体式水車部分である。
- しかが、陸上においで、い組を、てみは、もを、発兼私分、電ねたであらう、新規性があ

検索キーワード

検索項目

要約/抄録

キーワード

水車 すいしゃ

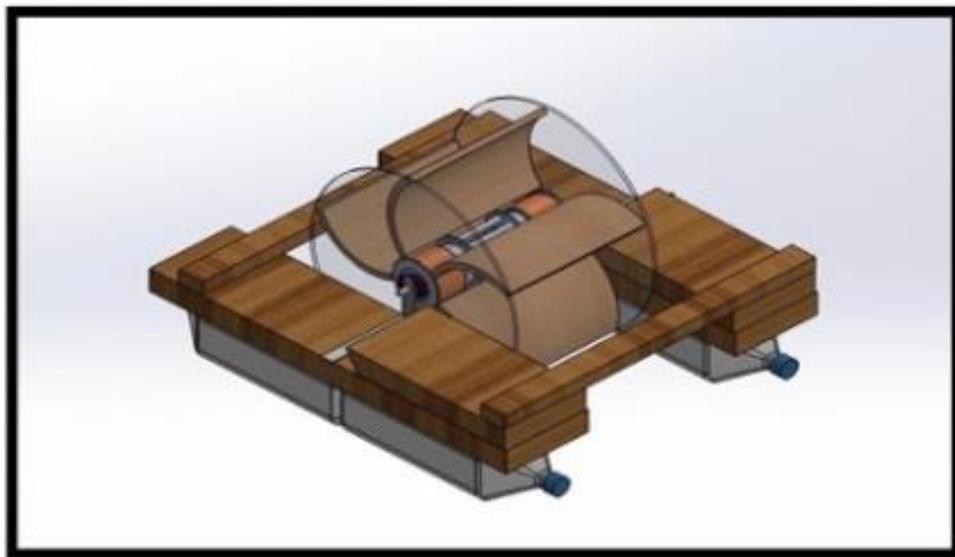
✕ 削除

要約/抄録

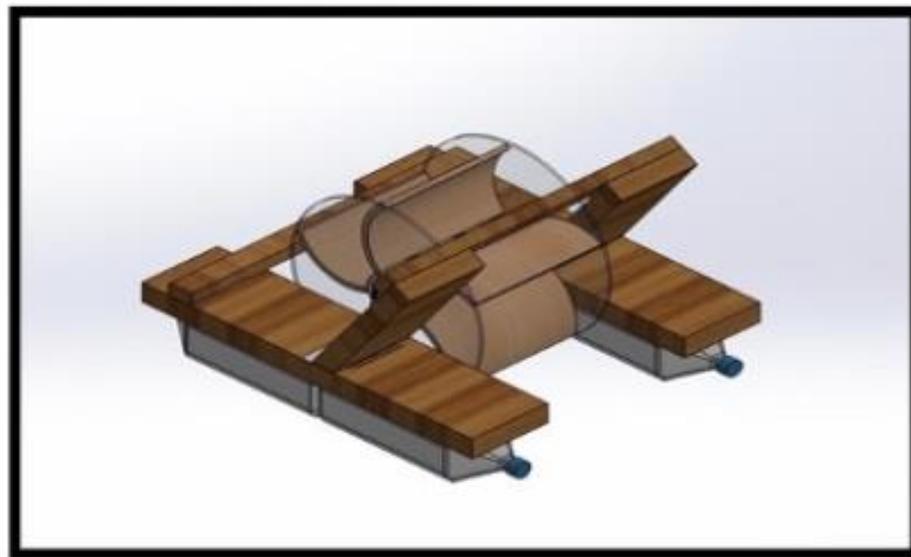
筏 いかだ イカダ

✕ 削除 + 追加

- (19)【発行国】日本国特許庁 (J P)
 (12)【公報種別】公開特許公報 (A)
 (11)【公開番号】特開平10-141200
 (43)【公開日】平成10年(1998)5月26日
 (54)【発明の名称】地球に優しい発電イカダ
 (51)【国際特許分類第6版】
 F03B 7/00
 B63B 35/00
 【F I】
 F03B 7/00
 B63B 35/00 T
 【審査請求】未請求
 【請求項の数】1
 【出願形態】書面
 【全頁数】3
 (21)【出願番号】特願平8-352488
 (22)【出願日】平成8年(1996)11月12日
 (71)【出願人】
 【識別番号】591209707
 【氏名又は名称】久野 雅也
 (72)【発明者】
 【氏名】久野 雅也



未展開



自立足部の展開図

画像の水車は、災害時に避難する際に、一緒に避難できる。するとそれを電源として活用できるようにもなる。川岸に固定するためのロープを利用してランドセルのように背中に背負って運べるようにもした。また、市街地のような陸上でも、用水路から溢れる小さな滝のような水流ポイントにも設置できるように「自立足部」を増設した。